

ホールコンサート

平成 7 年 11 月から平成 8 年 2 月にかけて計 7 回、本館庁舎の改修に伴い、玄関ホールを一般開放して「神戸港の早期復興を願う」の想いを馳せホールコンサートを実施した。



平 7.11.24 税関記念日コンサートとして「兵庫県警察音楽隊」による演奏が行われた。



平 7.11.27 「神戸税関音楽隊」(写真)、「アンサンブル・エレガンテ」による演奏が行われた。音楽隊は平成 6 年 12 月に生まれ、9 月から本格的な練習を始め、初めての演奏を披露した。



平 7.12.22 X'mas コンサートとして大阪音大卒業生と現役大学生の女性 7 人グループ「七色の響き」による演奏が行われた。



平 8.1.17 神戸港の早期復興を願う「震災 1 周年コンサート」が開催され、「絃の会」による筝曲 4 重奏、「コールブリーデル」(写真)による鎮魂歌がホールに響き渡った。



平 8.2.9 ファイナルコンサートとして濱田税関長あいさつの後、「グロイツェント神戸」によるピアノ、チェロ独奏及びソプラノ独唱、「小林玉紀」氏によるヴァイオリン独奏が披露された。



その他、平 8.1.12 ニューアイヤーコンサートとして「兵庫ロータリー学友会」によるピアノ、ヴァイオリン独奏及びテノール独唱、平 8.1.31 スプリングコンサートとして「タイム・ストリングス・トラベラーズ」による演奏が披露された。

7 回続いたホールコンサートの幕を閉じた。各ホールコンサートにおいては、業者溜りに観客席として椅子を敷き詰めた。(写真)

本館庁舎一般開放

平成 8 年 4 月 4 日から 4 月 10 日の間、本館庁舎の建て替えに伴う仮庁舎への移転に際して、元貴賓室、元税関長室、塔屋等庁舎の一部を一般公開し、期間中約 2,000 人の入場があった。



オープニングセレモニー



多くの報道機関の取材があり、報道された。



ホールコンサート写真展示コーナー



広報展示コーナー



きき水コーナー

海水淡水化装置により淡水化した神戸港の海水と六甲の水等 4 種類の水を飲み比べ 712 名の参加があり、正解者はうち 44 名であった。



元貴賓室、元税関長室



7 階時計塔（塔屋）旧庁舎の写真等を掲載

その他

庁舎の歴史コーナー
震災関連コーナー
税関展示コーナー
広報ビデオコーナー
等を設置した。

改築着工記念式

平成 8 年 4 月 12 日、昭和 2 年以来 70 年間、神戸港と税関職員を見守り続けた本館庁舎の別れを告げるため、改築工事に伴い記念式典が挙行された。



新制服の音楽隊による「税関の歌」の演奏に合わせて、税関旗降納式が行われた。



濱田税関長による神戸税関本館庁舎改築工事着工記念式典式辞。



横殴りの雨の中、永きにわたり屋上に翻っていた税関旗が降納された、この様子は式典会場の大型スクリーンで映し出された。



本館庁舎の建て替えに至った経緯を後世に語り継ぐため作成された銘板の原稿を除幕し、朗読された。内容は銅版に刻み込まれ、新庁舎に保存された。



降納された税関旗等をタイムカプセルに装填し、第 150 回税関記念日に開封を行うこととしている。



本館庁舎を語る夕べにおける職員の集いでは、「税関の歌」の演奏で始まり、約 400 名の職員による「税関の歌」の合唱で幕を閉じた。



平 8.5.20 本関敷地内において、税関長をはじめ多数の来賓の中、安全祈願が行われ本関庁舎建築工事起工式が執り行われた。平成 10 年度末竣工に向け、第 1、第 2 分館の解体工事を経て、建築工事に着工した。



平 8.7.20 第 26 回神戸まつり協賛「復興 KOBE パレード」が開催され、職員 23 名と麻薬探知犬 2 頭が初参加した。パレードは、麻薬探知犬を先頭に「許しません！白い粉 通しません！黒い武器」の横断幕を掲げ、生田神社からスタートし約 1 時間にわたり神戸市内を行進した。